

始業式を迎えるにあたり、1名転校してしまいとても残念でしたが、全員元気に登校できてとてもほっとしています。やはり、学校に子どもたちの声が響くとよいですね。元気が出ます。

終業式が終わった後は生徒指導主事からの話、始業式が終わった後は、養護教諭からの話があります。どちらも子どもたちに分かりやすく話されるので、いつも感心しています。

2学期始めは養護教諭から「夏休みの生活を振り返って」と題して子どもたちに話がありました。今年度、養護教諭の中では1つの仕掛けとして「ビンゴ」を活用しています。1つ1つのマスに、歯磨き、早寝早起き、朝ご飯…等、子どもたちに行ってほしいキーワードを入れ、達成できたらビンゴ！という流れです。今回もビンゴを用いて夏休みの生活を振り返り、子どもたちは積極的に参加していました。

我々が話すときの最大のポイントは「いかに子どもたちの心に届くか」です。今回も伝えたい内容を「ビンゴ」という形で可視化し、目的は十分達成されたと思います。素晴らしい工夫ですね。

私の話も、子どもたちの目が輝きながら聞いてくれるように挑戦していきたいと思います。



今年度のテーマ 「挑戦」
 ～挑戦の分かれ道～